

海外監査の成熟度に合わせた 適切な戦略を立てる

「経営を支える内部監査の8つの重点課題とその対応策」〔第6回開催分（全8回開催）〕

- 日時 ● 2015年5月12日（火）14:00～17:00
- 会場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人における約20年の会計監査への従事と10数年にわたる内部監査、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、A B ボルボのコーポレートオーディット日本担当ダイレクターおよびUDトラックス株式会社 監査役として内部監査の統括及び監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆、講演活動にも従事。最近の著書に『内部監査の課題解決法 20』税務経理協会。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

- 講演／海外監査の成熟度に合わせた適切な戦略を立てる <14:00—16:00>

慣れない海外子会社監査で失敗したというケースは大企業でも聞かれます。その原因としては国内監査との違いを十分認識して準備していなかったということが第一に挙げられるでしょう。多くの大手企業には監査の対象となる海外事業がすでにあるか、M&A などによっていつ必要になってもおかしくない状況が見られます。海外監査に失敗しないコツは、予め課題と攻略法を検討して準備しておくことです。こうした点検は現在海外監査を順調に進めている企業にとっても改善すべき領域を見つける良い機会となります。また海外監査の発展のパターンを知ることによって、将来の海外監査の方向性を検討する参考にもなるでしょう。

今回は海外監査に一般的な、海外監査チームによる監査のケースと海外特有の個別問題を検討し、更に海外監査の成熟度に応じて実務上の課題がどのように推移するか、また海外監査を高度化した監査の一つの方向としてグローバル監査の特徴などを取り上げます。

1. 海外監査チームによる海外監査の課題と対応
一チーム編成、事前アレンジと作業ステップ、方法論、固有のリスク認識等
2. 国内とは異なる海外に特徴的な個別課題（職務分離、利益相反、人事労務関連他）
3. 海外監査の成熟度に応じた課題の推移
4. 海外監査を高度化させたグローバル監査のポイント

- 講演をベースとしたディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>

～参加各社の対応事例や現状の問題意識をシェアする中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

- 受講料：1名（資料を含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。
折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。
※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

- 申込先（社） 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

140188	2015 5/12 経営を支える内部監査の8つの重点課題と～		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	

※裏面もご参照ください